

天王山・淀川 歴史と文化 うるおいのあるまち

おやまざき

広報

6

2009(平成21)年



今月の主な内容

- 特集 「山崎合戦と天王山」 3P
～町のPR品「勝運石」「TOMYO」 5P
- 第10回公サ連まつり 6P
～今年は6月13日土・14日日
- 知っておきたい国民健康保険 8P
- まちの話題 春の叙勲 10P

vol.496

<http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp>

■大雨シーズンに備えて



今年も梅雨の季節がやってきます。大雨による土砂崩れや河川の洪水に対する警戒が必要な時期です。最近では、ほんの数分の間に局地的な集中豪雨が発生するいわゆる「ゲリラ豪雨」による被害も各地で報告されています。大雨警報や洪水警報が発令されると、役場では、「警戒本部」を設置し、河川情報システムなどから降雨量や河川の水位を見守ります。大山崎町では、今年も防災パトロールを実施し、町内の危険箇所などを事前にチェックしました。皆さんの周囲でも危険箇所と思われる場所があれば、役場へお知らせください。(写真は昨年の防災パトロール)

■シルバー人材センター事務所などを移転

町有地の有効活用を行うため、共同作業所やシルバー人材センターを移転しました。いずれも大山崎集会所敷地内に移転先を確保し、共同作業所は、福祉団体研修所をリニューアル、地域活動支援センター「やまびこ」として4月にオープン。シルバー人材センターは事務所と作業場所からなる2階建ての建物を建設し、6月から稼働します。

工事や、移転作業に際し、地域の皆さんにはたいへんご迷惑をおかけしました。これからもその運営にご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

シルバー人材センター



地域活動支援センター「やまびこ」



「やまびこ」で作られているクッキー「山崎の合戦」は、チョコとアーモンドがはいったオリジナル商品です。

■広報おおよまざき 表紙をカラー化



先月号から「広報おおよまざき」の表紙とカレンダーをカラー刷りにしました。紙質の選定によって経費の抑制に努力しながら、昨年に行った広報に関する住民アンケートの結果などをふまえ、住民の皆さんにとって、一層魅力ある広報づくりをめざしました。これからも、皆さんからのご意見、お便りをどんどんお寄せください。

■町職員が海外研修プログラムに参加

広報・広聴、国際交流などを担当する町職員が国際ロータリー財団の主催する海外での青年職業研修プログラムに参加。4月中旬からアメリカ合衆国ウエストバージニア州にある自治体数箇所を約1カ月に及び日程で訪問し、5月下旬に帰国しました。自治体の広報活動などを視察したほか、現地の一般家庭でホームステイも体験。今後の職務の向上に役立ててまいります。(写真はウィアートン市で市長を表敬訪問する職員。大山崎町からの記念品や、町長のメッセージを渡しました)



■表紙の写真



ふるさとづくり大山崎町推進協議会では、この春も会員である町内の各種団体の皆さんとともに花いっぱい運動に取り組みました。

毎年秋にプランターに苗を植え、春の開花に合わせて駅前などに飾ります。今年度は役場庁舎や町体育館に配置し、4月中旬水やりや、手入れを続けました。皆さんありがとうございました。

ふるさとづくり大山崎町推進協議会の会員としてご協力いただいた団体の皆さんは、次のとおりです。

大山崎町長寿会連合会／大山崎町婦人会／大山崎町青少年健全育成協議会／天王山をまもる会／大山崎町環境美化推進員／大山崎生活学校／大山崎町文化協会

このほかにも、ふるさとづくり大山崎町推進協議会では、「ごみゼロ運動」への参加や、天王山清掃ハイキングなどの事業にもそろって参加をいただいています。

山崎合戦とその舞台



羽柴秀吉 (大阪城天守閣所蔵)

今から、427年前の6月に起こった「山崎合戦」。天王山をいち早く制した秀吉が合戦を有利に進めたことから、「天下分け目の天王山」という言葉が生まれました。「大山崎町史」から、「山崎合戦」の経緯と当時の大山崎のまちの様子を見てみると……。

鉄砲の打ち合いをしたそうです。かくして、6月13日の夕刻、世に名高い山崎の合戦が火蓋を切ったのです。

この戦いは秀吉の天下取りの第一歩でしたが、戦場は大山崎町域から長岡京市に及んでいたといわれます。秀吉がこの4か月後に記したという手紙などからこの戦いの様子をうかがうことができます。

両軍の兵力は、一説に秀吉方が4万人。光秀方が1万6千人といわれています。秀吉が中国攻めに投入していた軍勢と信長の軍勢に加え、摂津の国にいた織田方の武将も加わるようになったことから、これらの数字はほぼ事実に近いものと考えられており、光秀の劣勢は明らかでした。

合戦を前に両者がめざしたのは天王山。その天王山を手中に収めて勢いづいた秀吉軍は、西国街道、淀川

沿いの道、そして山手の天王山の麓の道

と三手に分かれて進撃したといわれています。これに対し、光秀軍は、勝竜寺を背後にした御坊塚に本陣を置き、大山崎方面から進んでくる秀吉軍を迎え撃つ体勢を取りました。したがって、小泉川をはさむ円明寺や下植野のあたりがまともに戦の場となっていました(5ページ地図参照)

戦いは午後4時頃に始まりましたが、側面や背後さえも衝かれる形となった光秀軍は縮くずれとなり、一旦勝竜寺城に退去した光秀は、夜陰に乗じて脱出し、再起をはかるために近江(滋賀)へ向かおうとしました。しかし途中、山科の小栗栖村で農民の襲撃にあい、あえなく命を落とすのでした。6月14日のことでした。

山崎合戦之図 (歴史資料館所蔵)



明智光秀 (本徳寺所蔵)

天正10年(1582年)6月2日未明。明智光秀が率いる1万3千余の軍勢が200足らずの馬廻衆のみを連れて京都の本能寺に滞在していた主君・織田信長を急襲しました。信長は炎の中で49歳の生涯を閉じたのです。

その頃、羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)は備中高松城で、毛利軍を攻めている最中でした。主君の無念の死の知らせを聞いた秀吉は、急いで毛利との和議を結び、その軍を返して京都に向かいます。これが「秀吉の中国大返し」と知られる出来事です。

秀吉の軍は、6月8日に姫路、11日には摂津国尼崎に入ります。12日には、早くも秀吉の先陣が山崎に着したといえますから、その早さには驚かされます。さらに勝竜寺城付近まで出た足軽が放火し、光秀方との

一方、これらの戦乱の舞台となった大山崎のまちでは、その頃どのようなことが起こっていたのでしょうか。

大山崎の歴史の中で特に目を引くのは、当時の大山崎（狭い意味で、現在の字大山崎地域）というまちが荏胡麻から作られる灯明油の販売で莫大な富を築いたまちであったということです。

鎌倉時代から室町時代にかけて、大山崎にその拠点を置いていた油神人の組織が灯明油の専売の特権を得て、京の都を中心に全国各地へと売り歩き、経済的にも大きな力を得ることになったのです。当時の大山崎は、そうした背景から、將軍から自治権を認められていました。

皆さんもご存知のように、離宮八幡宮（大山崎・西谷）には中世以来の貴重な史料がたくさん残っています。その中でもひとときわ目立つのが戦国時代の「禁制」です。

禁制というのは、当時の武将たちが町にだす禁止令のことで、保護事項の約束事が簡条書きにされており、おもに次のようなことが書か

れていたようです。

「勝手に竹や木を切つてはいけない」「武士たちは乱暴や狼藉をしてはいけない」

「放火をしてはいけない」「お金や米を強奪してはいけない」

このようなことを有力な武将の名前の下に約束させたのです。

当時は、いたる所で戦争があったため、乱暴や放火がたびたび起こり、人々はたいへん迷惑がっていたようです。

そこで人々は高いお金を払って、このような禁制を武将に書いてもらい、武士たちの乱暴から町を守ろうとしたと思われます。荏胡麻油の販売で富を増し、たいへん栄えていた大山崎はこうした戦国時代の禁制が日本でもっとも残っているまちです。

大山崎を舞台にした戦いは、光秀と秀吉の「山崎の戦い」だけではありません。

大阪と京都を結ぶ交通の要衝であった土地がら、数々の戦いがここで繰り広げられてきました。古くは南北朝時代の「久我暁の戦い」から、幕末の「禁門の変」まで、その数は

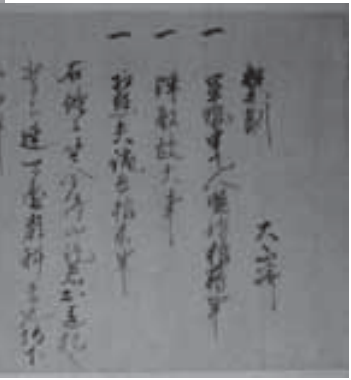
計り知れません。

さて、秀吉と光秀の戦いがこの「大山崎」で起こるかもしれないということになったときにも、人々は、この禁制を利用することにしたのです。

大山崎の人々は、光秀にいち早く禁制を出してもらいます。ところが、一方の秀吉側の総大将・織田信孝にも同じ禁制を出してもらっているのです。大山崎の人々にとっては敵であろうが、味方であろうが、とにかく関係なしに、戦乱から自分たちの身を守りたい。自分たちのまちを守りたいという思いがあったのでしよう。当時の大山崎も無駄な出費をしたわけではありません。どの武将が有力か、正確に情報を把握しながら禁制を出してもらっていたようです。

現実には、大山崎の住民の中に光秀に加担した者もいたようですが、いずれにしろ、両軍から禁制を出させた大山崎の経済力は並々ならぬものであったと思われます。そして、まちを守ろうとする人々の思いも一倍強かったのではないのでしょうか。

(左) 織田信長の三男であった信孝が大山崎に出した禁制。三七郎とは信孝のこと。名前の下にあるのは花押(かおう)と呼ばれるもので、武将や大名が用いたサインにあたるものです。



離宮八幡宮所蔵



(左) 光秀軍は南から敵の大軍がひしひしと詰め寄ってくるのを感じとり、満を持してその攻撃を待ち受けていました。そして6月12日の夕刻から13日の昼過ぎまで戦いは続きました。

催しのお知らせ

山崎合戦の地を歩く

↳ 天下分け目の天王山

とき 6月13日(土) 午前9時45分〜午後3時30分(雨天決行)

集合場所 J R山崎駅前広場

午前9時45分

コース(概略) 宝積寺〜青木葉谷展望台〜桜の広場公園(昼食)〜サントリービル京都工場(見学と試飲)〜勝竜寺城公園(解散)

定員 100人(申込多数の場合は抽選)

参加費 300円(宝積寺拝観料は別途)

申込期間 6月5日(金)まで(必着)

申込方法 往復はがきに▽住所▽氏名▽年齢▽電話番号を明記のうえ左記まで。

問・申込 〒618・8501(住所不要) 生涯学習課「山崎合戦の地を歩く」係

☎ 956・2101

春の天王山清掃ハイキング

天王山をまもる会と大山崎町では、恒例の「春の天王山清掃ハイキング」を実施します。

とき 6月6日(土)

集合 午前8時45分

山崎聖天「桜の広場」

※事前の申込みは不要。雨天中止

問合せ 経済環境課

☎ 956・2101(内243)

町のPR品を開発



マスコット「合戦くん」

大山崎町では、今回の特集でも取り上げた山崎合戦や、荏胡麻の灯明油にちなんだ、町のPR品をつくりました。

現在、ふるさと納税制度を利用した「天王山ふるさと応援寄附金」の記念品として差し上げるなど活用しています。

天下分け目の天王山 「勝運石」

世に言う「山崎の合戦」を前に山城の国・大山崎の「天王山」をいち早く制した羽柴秀吉（後の太閤・豊臣秀吉）は、このことによって決戦を有利に進め、その勝利を機に一気に天下人への道を駆け上っていったのです。



「天王山」を制したことによって、勝敗を有利に進めることができたという史実。「天下分け目の天王山」という言葉の起源は、ここにあります。

この石は天王山で採取したものです。秀吉を天下人へと導いた勝運にあやかり、皆さんもぜひ高い志の成就の励みとしていただければ幸いです。皆さんの幸運を心からお祈りしています。

※石の採取にあたっては、地権者のご協力を得ています。

荏胡麻油の灯明セット 「TOMYO」

大山崎町は、古く平安時代から安土桃山時代にかけて荏胡麻（エゴマ）を原料とする灯明油を製造・販売する全国の拠点でした。油神人と呼ばれる油販売に携わる商人たちの活躍によって、当地は他に類をみない自治都市として繁栄しました。



宵ごとに 都に出でる 油売り
 更けてのみ見る山崎の月
 山崎や すべり道ゆく油売り
 打ちこぼすまでなく涙かな

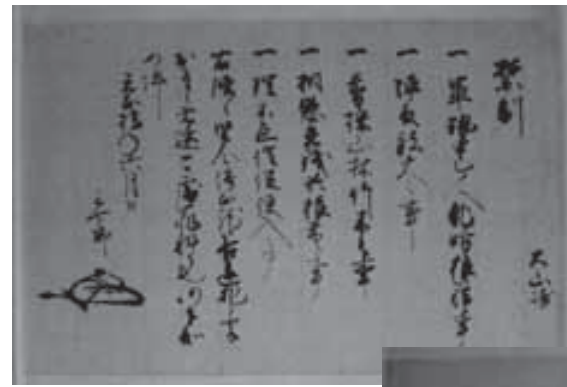


夕方になると京の都に出て油を売り、夜も更けて山崎に帰りつく振売り商人。彼は二つの桶に油を入れ、天秤棒をかついで都へ通いました。道々こぼれる油に難儀しながら、商いに励んだようです。

当時の灯明油は高価なもので、寺社・武家・貴族たちの屋敷で用いられていたことでしょう。

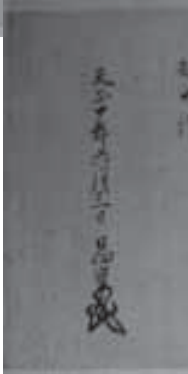
現在では、さまざまな照明器具によって昼間と変わることもない明るさに慣れてしまった私たちですが、往時の貴族たちが灯明のもとで繰り広げる優雅な暮らしを想像してみてもいいでしょうか。

問合せ＝総務課 秘書広報係 ☎956-2101(内311)



離宮八幡宮所蔵

(右) 明智光秀が大山崎に出した禁制。6月3日の日付が見られます。これは信長の死の翌日。日向の守とは光秀のことです。



高柳光寿 「本能寺の変」

第10回

公サ連まつり

……参加・友愛・協力・感謝……

6月13日土・6月14日日

普段、公民館活動に参加されていない方も自由に見学できます。
事前の申込みなどは不要ですので、気軽にお越しください。

会場=中央公民館
主催=大山崎町公民館サークル連絡協議会
後援=大山崎町教育委員会
問/協賛=中央公民館 ☎957-1421

誰でも自由に
参加できます！



いつでも どこでも 公民館

展示発表・バザー部門

6月13日土・14日日

展示室	サークル
本館1階 実習室	トールペインティング PCメゾン
本館2階 会議室	大山崎洋蘭会
本館2階 講座室	日曜画家の会
本館2階 和室	大山崎ペン字サークル 着物と作法を知る会
本館1階 ロビー	ボランティアたんぽぽ
別館1階 ロビー	なつめ会（茶道） 茶道サークル (14日のみ)
別館2階 第1研修室	大山崎町絵画サークル
別館2階 和室	囲碁サークル
別館2階 和室/第2研修室	ジュニア囲碁サークル
別館2階 ロビー (パネル展示のみ)	男の料理サークル 桂會（書道） ダンスサークルラビット

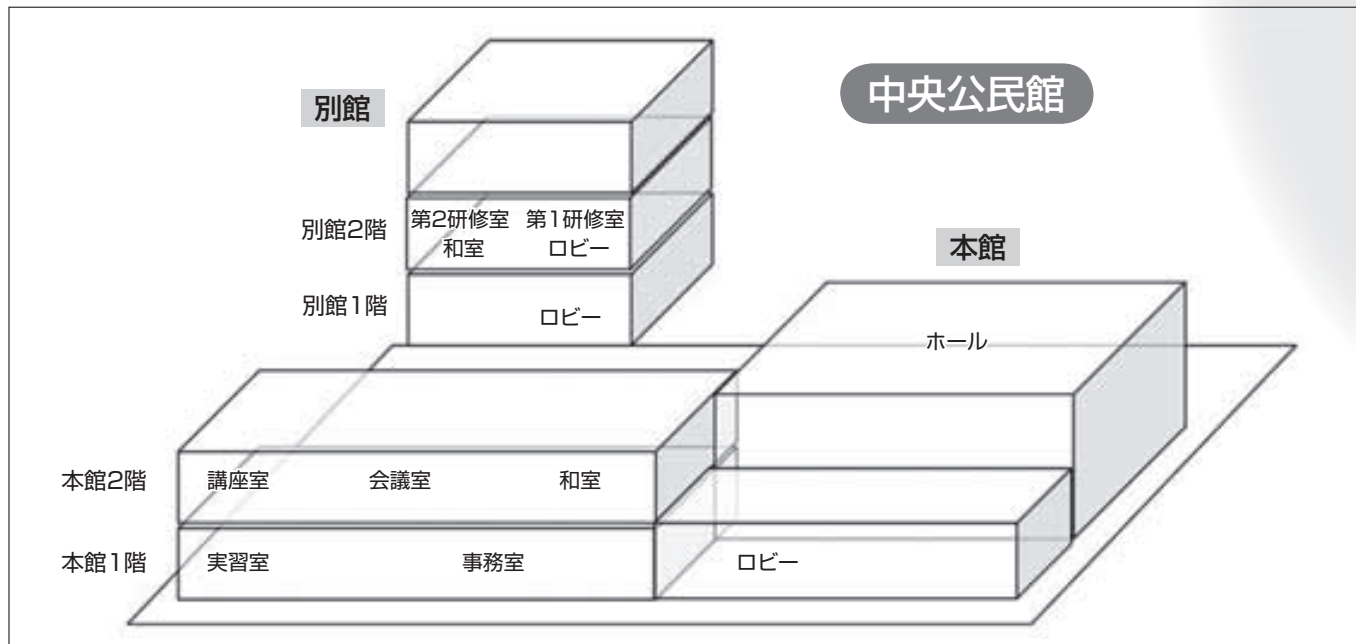
今年の日程は

6月13日土 9:45～15:30

6月14日日 10:00～16:00

の2日間です





開催期間中、館内のスタンプラリーで素敵な記念品をプレゼント!!
カレーや餅つきなどの模擬店も出店!

舞台発表部門

本館1階ホール



時間/日	6月13日(土)	6月14日(日)
9:45 ~	開会式~	
10:00 ~	大山崎太鼓同好会	大山崎中学校吹奏楽部
10:30 ~	大山崎フォークダンスサークル	朗読「オアシス」
11:00 ~	大山崎ハーモニカサークル	詩吟愛好会 (12:00まで) 詩吟小倉サークル
11:30 ~	エコーおとくに	
12:00 ~	三絃を楽しむ会 (13:00まで) 民謡サークルみやび	和太鼓つくどん
12:30 ~		天王山吟詩会 剣・扇舞の会 夏目吟友会
13:00 ~	カラオケ音響クラブ	
13:30 ~	リズムダンス	すみれ会
14:00 ~	大正琴サークル	美次会
14:30 ~	昔懐かしい童謡を楽しむ会	大山崎カラオケ同好会
15:00 ~	メレフラハラウ(フラダンス)	ナツメロサークル
15:30 ~	オルケスタ山崎	閉会式

6月中旬に 保険税の納付書を発送します

国民健康保険制度

国民健康保険制度は被保険者（加入者）が日頃から収入や資産に応じて保険税を支払い、万が一の病気やケガのときには、それらを財源として医療費を給付する相互扶助の制度です。

日本は国民皆保険制度をとっていますので、職場の健康保険や長寿医療制度などに加入している方や、生活保護を受けている方などを除く、すべての方が国民健康保険制度に加入します。

※国民皆保険制度は、国民健康保険法の規定で市町村内に住所を有する全ての方が国保に加入し、その中から職場の健康保険や長寿医療制度などに加入している方を除外するという方法で成立しています。

国民健康保険被保険者証

大山崎町の国保では保険証を世帯に1枚交付しています。

保険証の管理・使用にあたっては次の点にご注意ください。

○有効期限を過ぎた保険証は無効です。（現在の状況を町民健康課に確認してください）

○紛失や破損した場合は町民健

康課で再交付の申請をしてください。

○被保険者資格を喪失したら、ただちに使用を中止し、保険証を返還してください。

○急病やケガなどでやむを得ず保険証を持たずに医療機関を受診し、かかった医療費全額を支払われた場合は、後日申請いただくことで町民健康課から国保負担分（窓口3割負担の方であれば7割分）をお返しします。

○仕事や就学などの理由で遠隔地に赴く場合は、申請されずと他の世帯員から分離した保険証をお渡します。

国保の届出は

次の表のような場合には、役場の町民健康課へ14日以内に届出を行ってください

国保へ加入	国保から脱退
他市町村から転入したとき	大山崎町から転出するとき
職場の健康保険から脱退したとき	職場の健康保険に加入したとき
生活保護を受けなくなったとき	生活保護を新たに受けるとき
子どもが生まれたとき	死亡したとき

保険証は世帯につき1枚ですから、世帯内の一部の加入者の異動であつても世帯の保険証をご持参ください。（新しい世帯状況を反映した保険証に交換します）

届出内容ごとに必要書類などが異なりますので、詳しくはお問合せください。

国保の届出が遅れると…

— 14日を過ぎると —

- 加入の場合
 - ①保険税は異動のあった日に遡って課税されます。
 - ②未届けの期間に受けられた医療は保険給付が受けられません。
- 脱退の場合
 - ①資格がなくなっているのに国保の保険証を使用した場合は、国保が負担した医療費を返還していただきます。
 - ②保険税がかかり続けます。（届出があれば遡って精算します）

国民健康保険税の計算

保険税は国などの補助金とともに、国保の重要な財源です。具体的には世帯ごとの収入や資産、加入者数を下表にあてはめて年税額を算出しています。

保険税の納め方

下の表で計算した年間の保険税を、6月から翌年3月までの

毎月末を納期限とする10回払いで、納付書か口座振替によって納めていただきます。（4・5月分は6月以降に振り分けています）

加入者に年の途中の異動（加入・脱退）があつた場合は、年税額を月割で再計算し、その後の納期限の税額を増減して調整します。（過払い金額がある場合は還付します）

保険税の納め忘れをなくし、金融機関などへ出向く手間を省いていただくためにも、口座振替制度をご利用ください。

口座振替取扱金融機関
 京都銀行、京都中央農業協同組合、みずほ銀行、りそな銀行、池田銀行、関西アーバン銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、近畿労働金庫、ゆうちょ銀行・郵便局

保険税を滞納すると…

経済的な事情などで保険税を支払えない場合は、そのままにせずにご相談ください。前年度所得などに応じて減免や軽減を受けられる場合があります。また、減免などの対象にならない場合でも、分納などの計画的な納付方法もあります。

①保険証を1年以上滞納すると…
 有効期間の短い保険証に切り替えます。

②資格証明書を発行します。（この場合、医療機関窓口での保険給付は受けられず、その都度役場で保険給付分の精算を行なうていただきます）

③1年6か月を経過すると保険給付の一部または全部を差し止めます。

その他、地方税法に基づいて財産の差押えを執行されるなどの不利益な処分を受けることもありますので、まずは必ずご相談ください。
 問・相談 町民健康課高齢者福祉・保険医療係（内129）

課税区分	課税対象	税率など		
		医療分	介護分	支援分
所得割①	加入者の前年中所得金額	7.4%	1.3%	1.6%
資産割②	加入者の固定資産税額	20.0%	6.0%	3.0%
均等割③	加入者1人あたり定額	19,000円	8,500円	4,000円
平均割④	加入者1世帯あたり定額	19,000円	5,500円	4,000円
限度額	超過分は切り捨て	470,000円	100,000円	120,000円



37 大山崎ラビットクラブ

「カーン、カーン」と軽やかなピン球の音が体育館に響いています。

「大山崎ラビットクラブ」は小中学生のメンバーを中心にした卓球を楽しむクラブ。現在メンバーは11人。OBや、保護者も一緒に汗を流します。

「学校などから公式試合にできるほか、地域で開催される市民レベルの卓球大会にも結構参加するんですよ。1年に10ぐらいはあります」と現在このクラブのコーチ兼代表を務める小林範之さん。自身もこのクラブで育ち、先輩たちから技術を教わってきました。

「メンバーたちには、もちろん技術的に強くなってもらいたいののは当然ですが、卓球を長く続けて、自分の生涯スポーツにしてもらいたいですね。他のクラブでは、週に2・3回ほど練習されているところがあります。ラビットクラブは週に1回だけ。その分、少し高度なテクニックや、台上で微妙なかけ引き



「会費は月に1,500円。大山崎ラビットクラブは、新しい仲間を待っています。練習は毎週日曜日、大山崎町体育館または大山崎小学校でやっています。来てくださいね」



ピン球と汗とはじける笑顔

を教えることもあります。小学生にそんなことまで教えるの？ってよく言われますね(笑)」「ラビットクラブがスタートしたのは1985年。かれこれ25年近い歴史を重ねるクラブです。「相手とのラリーが続くようになりました」と喜ぶのは小学5年生の女子。4歳になる妹と一緒に参加しています。「卓球は、次に相手がどんな球を返してくるのかなって先を読むところも面白いです」というのはドライブマン(攻撃型)・高校3年生の男子。今は現役を引退した韓国のかつての名選手キム・テクスが目標だそうです。

RELAX
中央公民館図書室からのご案内
ゆった〜り
読書

図書の貸出・返却時間
平日 10:00 ~ 16:30
土日祝 10:00 ~ 16:00
6月の月末休室日
6月25日(木)

返却ポストをご利用ください

公民館正面入口(西国街道側・小学校の前)に青色の返却ポストを用意しています。

図書室がしまっているときには、その中に返却本を入れてください。



一般書



「だましの手口」
西田 公昭/著 PHP研究所

振り込み詐欺——ほとんどの人は「知っている」のにだまされたのです。それはどうしてなのでしょう…振り込み詐欺から悪徳商法まで、心理学者がだましのトリックを明快に解説します。

- 「『太陽の哲学』を求めて」 吉村 作治・梅原 猛/著 PHP研究所
- 「深海の不思議」 瀧澤 美奈子/著 日本実業出版社
- 「おうちで布ぞうり」 辻岡 ビギー/著 雄鶏社
- 「院長の恋」 佐藤 愛子/著 文藝春秋
- 「どうせ、あちらへは手ぶらで行く」 城山 三郎/著 新潮社

児童書



「そらまめくんとながいながいまめ」
なかや みわ/さく 小学館

そらまめくんがひるねをしていると、グリーンピースのきょうだいが、あわててやってきました。グリーンピースのきょうだいは何かを見つけたようです。それはいったい…?

- 「さきがけの炎」 香谷 美季/作 講談社
- 「エンジンスタート!」 岩貞るみこ/作 講談社
- 「ジャッキーのたからもの」 あいはら ひろゆき/文 あだち みな/絵 ブロンズ新社
- 「マーロンおばさんのむすこたち」 堀高 順也/作 西村 敏雄/絵 偕成社
- 「魔術師 ニコロ・マキャベリ」 マイケル・スコット/作 理論社